

# 水のみち部門

環境教育の場 南大阪湾岸流域下水道南部水みらいセンター  
～「環境教育の場の創造」として、処理区内全ての小学校に環境教育を提供～

大阪府



←会議室では、「水の循環」、「下水道の役割」、「下水処理場で水をきれいにするしくみ」を学びます

水質試験室では、活性汚泥中の微生物を顕微鏡で映し出し、実際に微生物が汚れを食べている姿を観察し、生物処理について学びます。



←埋立地に建設された恵まれた環境で、処理場全体を環境教育の教材として活用しています。



水処理工程では、汚かった水がきれいになる様子を視覚のみならず嗅覚でも感じ学びます。



大阪府南部水みらいセンターにおいて実施している処理場見学は、小学4年生で学習する「生活に係る環境問題」の教育カリキュラムの一環として、処理区内にある全ての小学校に毎年来場いただき、地域の小学校の環境教育に欠かせない存在となっております。

地域に親しまれる下水道をめざし、また、次世代を担う子供達への環境教育の場の創造として実施しているものであり、処理場が供用開始した平成5年度以来、16年間毎年来場いただき、その数は延べ368校、児童22,496人の見学者数に達しました。これは処理区内2市1町の人口約13万人のおよそ17%にあたり、その割合は年々増加しております。